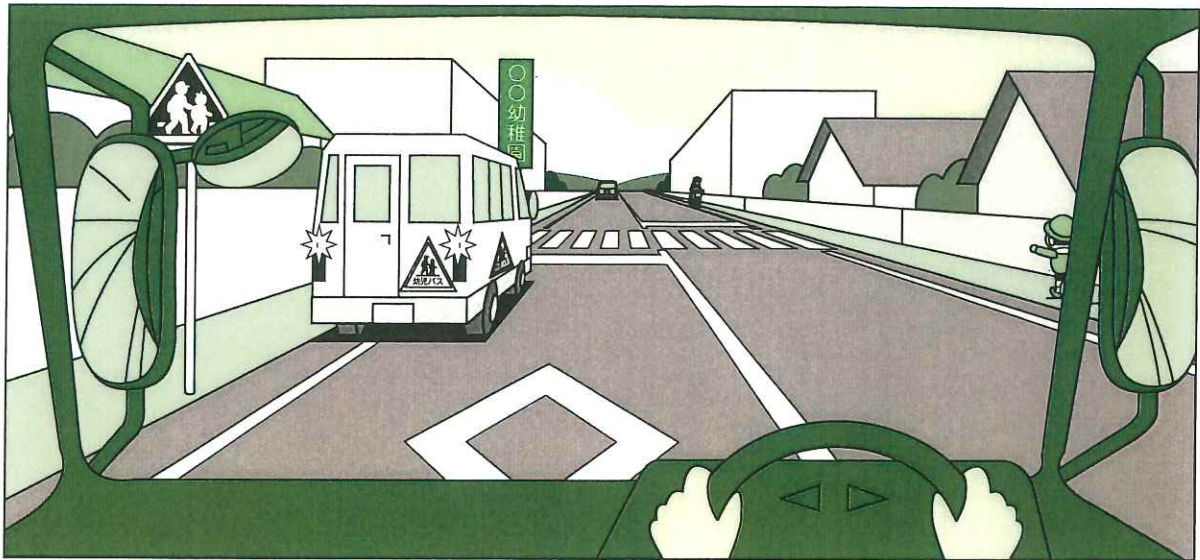


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 167 回〕「退園時間帯の幼稚園付近」

状況

あなたは、退園時間帯の幼稚園そばの道路を走行しています。前方にはスクールバスが停車しています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるにはどのような運転をすればよいでしょうか、考えてみましょう。



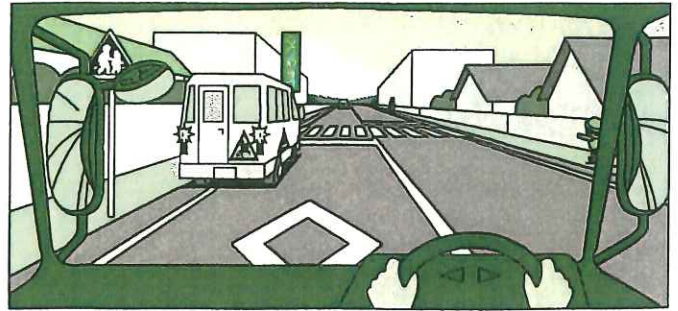
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは、退園時間帯の幼稚園そばの道路を走行しています。前方にはスクールバスが停車しています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるにはどのような運転をすればよいでしょうか、考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①スクールバスの前やその前方にある横断歩道から道路を横断してきた園児等と衝突する危険があります(図1)。
- ②幼稚園の方に向かって駆け出してきた子どもと衝突する危険があります(図2)。
- ③横断歩道を通過後、対向車線から幼稚園の方に進行してきた自転車と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①停車しているスクールバスが死角を作っているため、左前方の様子が確認できません。そのため、安易にスクールバスの側方を通過しようとする、バスの前を横断してきたり、横断歩道を横断してくる歩行者の発見が遅れ、衝突する危険があります。一方、歩行者もバスが死角となり、自車の接近に気づかないことも考えられます。特に子どもは、背丈も低く視界も大人と比べて狭いことから、自車の接近に気づかず道路を横断してくることが予想できます。スクールバスの側方を通過する時は、死角から自車の前に出てくる園児等を予測することはもちろん、徐行を徹底してください。
- ②道路の右側には、幼稚園の方を向いている子どもが見えます。子どもは、たとえ保護者と一緒に歩いている時でも、興味があるものを見つけると、一目散に駆け出すといった特性があります。この場面では、右側の子どもの飛出しも予測しておく必要があります。そのため、スクールバス付近のみに注意を集中せず、周囲の注意を怠らないようにしましょう。
- ③送迎はスクールバスだけとは限らず、保護者が自転車などで迎えに来るケースも考えられます。漫然と運転していると、対向車線から、幼稚園の方に進行してきた自転車を見落とし衝突する危険があります。また、保護者

図1

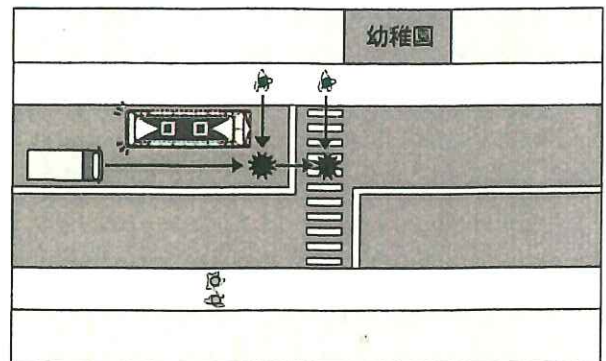


図2

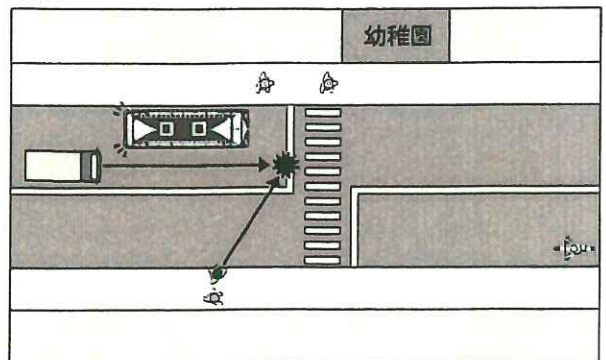
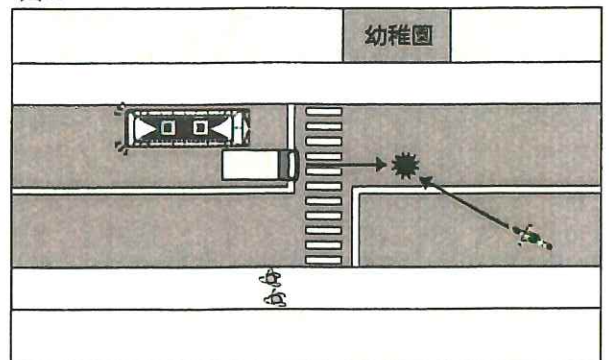


図3



は「トラックだから止まってくれるだろう」と、安易に幼稚園に向かって進行してくることも考えられます。幼稚園付近では、緊張感をもって積極的に危険を探しながら、慎重な運転を心がけましょう。